

授業科目名・形態	組織論 講義	必修・選択の別	選択
担当者氏名	小泉 正樹	開講期	1～2年後期 単位数 2

【授業の主題】

人は社会で生きていくために、何かしらの組織に属している。私たちは国家、地方自治体、企業、学校、病院など、多くの組織との関わりなしには生きていけない。本講義では、社会の基本的構成要素としての組織を対象に、その構造と機能をミクロとマクロの視点で学ぶ。本講義で学んだ組織理論を、実社会において既存の組織で活用、あるいは新規組織を立ち上げるときに、有用な知見を提供できるようにする。

【到達目標】

- 1) 組織論の体系を理解すること。
- 2) 組織理論を事例に当てはめて考え、問題点を発見して、改善案を提示できること。

【授業計画・内容】

- 第 1回 インTRODakション 組織論の基礎
- 第 2回 組織と環境
- 第 3回 組織構造と組織デザイン① 組織形態
- 第 4回 組織構造と組織デザイン② 分業
- 第 5回 組織構造と組織デザイン③ 標準化
- 第 6回 組織構造と組織デザイン④ ワークフロー、ヒエラルキー
- 第 7回 組織構造と組織デザイン⑤ 水平関係とその他の追加的処置
- 第 8回 組織行動論① 個人の行動とパーソナリティ
- 第 9回 組織行動論② 集団行動の基礎
- 第 10回 組織行動論③ 意思決定
- 第 11回 組織行動論④ コンフリクトとパワー
- 第 12回 組織行動論⑤ 組織文化
- 第 13回 組織のダイナミクス 組織の長期的適応と発展過程、組織学習と変革
- 第 14回 非営利組織① 公的機関
- 第 15回 非営利組織② ヒューマン・サービスの組織、ボランティア組織

【授業実施方法】 基本的には講義形式で行う。

【授業準備】 事前配布プリントに目を通す。

【主な関連する科目】 医療と福祉のマネジメント、看護マネジメント論

【教科書等】 特になし

【参考文献】

- ・桑田耕太郎・田尾雅夫：組織論，有斐閣アルマ
- ・榊原清則：経営学入門〔上〕，日経文庫
- ・スティーブン・P・ロビンズ：組織行動のマネジメント，ダイヤモンド社
- ・沼上幹：組織デザイン，日経文庫

【成績評価方法】

- ・定期試験 50%、レポート 50%
- ・定期試験を欠席した場合は単位認定を行いません。

【学生へのメッセージ】

組織運営または経営側の視点に立って組織理論を理解することが、実社会で役立ちます。しっかりと目的意識を持って講義に臨みましょう。